

学校教育目標

挑戦し 高め合う子

校長から豊浜っ子の皆さんへ 7月1日(水) 朝礼の話

7月のめあて 「進んで学習に取り組もう」

7月のめあては「進んで学習に取り組もう」。この「進んで学習」とは、いったいどういう意味なのでしょう。授業中たくさん発表することも、進んで学習する姿ですね。でも7月は、そこからもう一歩すすんでほしいのです。今から「進んで学習」の大切な意味を3つ、皆さんにお話しします。



(テレビ放送で朝礼を行いました。)

① 「じっくり考えましょう」

じっくり考えていろいろな考えを発表できる人は、学習を「自分のこと」としてとらえています。学習の内容を、それまでに勉強した内容や、身の回りのこと、経験したものと結び付けて、考えているのです。勉強を「自分のこと」として取り組む人が一人でも多くなるように、豊浜小では授業の中に「**自分ごとタイム**」をつくりました。この時間、**授業の主役は皆さん一人一人**です。「自分ごとタイム」については、実際の授業の中で、先生に教えてもらってくださいね。

② 「自分の考えと比べましょう」

今は感染症対策のため、グループでの話し合い活動ができません。ではどうすれば、他の人の意見と比べることができるのでしょうか。そのためには、自分の考えをもつだけでなく、他の人の考えを知ることが大切です。皆さんは「**自主学習**」に取り組んだことがありますか。自主学習ノートには、自分の興味のあることや新しく知ったことを、わかりやすくまとめますね。実は、この時、自分の考えや知識と比べながらまとめているのです。話し合いができない今だからこそ、**自主学習に取り組む、いろいろな考えや新しい知識と自分の考えを比べてみましょう**。そうすることで、次の学びにつなげることができます。



③ 「自分を振り返りましょう」



皆さんは、どんなことを考えながら学校から帰りますか。「今日の算数、難しかったけど、前より計算ができるようになってうれしかった。」とか「水泳の時間、クロールの息継ぎができるようになった。」そうやって自分の学びを振り返ることが出来る人はとても素晴らしいですね。**朝、学校に来た時の自分と、帰る時の自分は、まったく違う**のです。それは毎日学校でいろいろな学びをしているからです。こうして自分の成長を毎日感じる事が出来る人は、自分を振り返って次の学習につなげることができます。そして自分の力をどんどん伸ばすことができます。

「じっくり考えましょう」「自分の考えと比べましょう」「自分を振り返りましょう」 この3つを心がけて、進んで学習に取り組みましょう。 皆さんなら必ずできます。 これでお話を終わります。

< 「暑さ指数」を指標にして熱中症予防に取り組んでいます。 >

熱中症が心配される時期となりました。学校では、熱中症予防のために環境省で示している「暑さ指数（WBGT）」を指標として外での活動を制限しています。

暑さ指数は、気温と同じ「℃」の単位で数値化されますが、気温・湿度・地面等からの輻射熱・気流なども踏まえて検出される数値です。学校では専用の測定器を使用しています。

以下の表は、環境省のHPで紹介されている指針です。参考気温も示されているので、御家庭でも目安にしてください。

● 運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

*暑さに弱い人：体力の低い人、暑さに慣れていない人など

昼休みの様子 ～いろいろな楽しみ方があります。～



定番のドッジボール！



運動場で のびのびと
体を動かしています。

みんなで
バッタを集めています。



ブランコで
まったり。

